

## 5月の主な行事

- 5月 8日(月) 工賃支給日
- 12日(金) 4月5月生まれ誕生会
- 13日(土) 土曜利用日

## 5月誕生月のみなさん おめでとうございます

三浦美津さん 高橋康太さん 大橋千晴さん  
誕生日おめでとうございます。誕生会は、4月生まれの  
皆さんといっしょに5月12日に行います。お楽しみに

# 遠足気分です室内花見楽しむ



お花見寿司と温麺をおいしそうにいただく利用者さんたち



4月14日、年間計画では春の遠足の予定でしたが、今年も新型コロナ感染予防のため大事をとって中止とし、代替え行事として「春のお花見会」を施設の中で行いました。

初めに中木所長からお花見にちなんだお話があり、もともとは神様に豊作を祈願する習わしがルーツだったことや、古く奈良時代から花見があったことなどのお話があり、外出できませんが楽しいひと時をお過ごしくださいとあいさつがありました。

お話の後は食事タイムです。古山みき子さんの乾杯の発声でお食事会が始まりました。みんなでお花見寿司と温麺、飲み物、だんごをいただきました。室内での「お花見」となりましたが、お昼の時間、有意義なつどいとなりました。

# ユニフォーム新調 保護者会よりいただく



池田会長（左の写真）と高橋副会長（右の写真）からユニフォームを受け取る利用者代表

新年度に合わせて、ほどはら授産所保護者会から利用者の皆さんに長袖と半袖のユニフォームのプレゼントがありました。その贈呈式が4月21日に行われ、保護者会池田会長と高橋副会長から利用者代表に贈呈されました。保護者会の皆様に厚く御礼申し上げます。



新しいユニフォームを着て集合写真を撮りました

## JA ふくしま未来様からイチゴ寄贈受ける



JA ふくしま未来の方からイチゴを受け取る両施設利用者代表（写真左から尾崎隆信さんと大橋千晴さん）

4月20日、JA ふくしま未来様から、伊達市を通じてイチゴのご寄付がありました。これはJA様の地元農産物のPRと消費拡大の一環で行われているもので、ほどはら授産所の大橋千晴さんと、だての郷尾崎隆信さんが利用者を代表して保原幼稚園に出向いて、イチゴをいただいてまいりました。当日、ほどはら授産所とだての郷では、お昼の給食のデザートとしてそれ

ぞれ利用者さんたちにお出ししました。生産農家の皆様が丹精込めて作ってくださったイチゴを感謝の気持ちでいただきました。この紙面をお借りし、JA ふくしま未来の皆様に御礼申し上げます。ありがとうございました。

このコーナーは、給食委託業者の㈱メフォス福島事業所、佐藤係長さんの食育コラムです。今年も四季折々年4回の連載を予定しています。掲載月の旬の食材にちなんだ話題やおすすめ料理、健康的な食事のとり方など専門的な立場から書いていただきます。皆様どうぞ参考になさってください。

## 五月 端午の節句にちなんだ食育のおはなし



株式会社メフォス福島第一事業部  
福島事業所第2課係長 佐藤 久美

みなさんこんにちは、利用者の皆様のお昼の給食を提供いたしております株式会社メフォス福島第一事業部の佐藤と申します。今年もこの一年間4回にわたって本欄を担当いたします。発行月にちなんだ食育のお話を掲載します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さわやかな風に、温かい日差し、外遊びや散歩が楽しい季節になりました。

5月5日は子どもの日です。鯉のぼりを立てかぶと人形を飾り、ちまきとかしわ餅でお祝いをします。

鯉は流れが速い川でも元気に泳ぎ、滝も登ってしまうほど強い魚です。このような強さを持つ魚のように元気に大きく成長出来るようにと願いを込めて、大きな空に鯉を泳がす行事ができました。



「ちまき」は毒蛇になぞらえ、ちまきを食べることで免疫力がつき、災難などの災いを除くという意味があります。

「かしわ餅」の柏の木は、新芽が出るまで古い葉が落ちないことから「子孫代々栄えるように」といった願いが込められています。

昔も今も、子供の健やかな成長を願う気持ちは変わりませんね。

新年度も始まり、疲れも出てくる時期ですが、旬の栄養価が高い食材を食べて免疫力アップに努めましょう。5月の旬の野菜は、玉ねぎ、タケノコ、グリーンピース、アスパラガス、春キャベツなどです。十分な睡眠、適度な運動も忘れないでください。

今年の夏も暑くなりそうなので早めに暑さ対策をして熱中症にならないよう備えましょう。



# 就労活動開始！

新年度がスタートし、1か月が過ぎました。各作業班は、新型コロナウイルスとウクライナ戦争による景気低迷の影響を受けながらも、毎日一生懸命作業を行っています。

リサイクル班は地元企業下請け作業について、先日契約更新を行い今年も受注いただき、途切れることなく作業ができる見込みです。段ボール班においては、コロナ不況の中、4月は昨年並みの受注がありました。ロシアのウクライナ侵攻による段ボール価格の上昇で発注量が減ることが予想されます。手工芸班は、コロナ感染対策分類が第5類に引下げが決定し、旅館のタオル歯ブラシ袋詰め作業の受注量は上向きになっています。刺し子布巾づくり、トイレトーパー包装作業は定期購入のお客様もあり、生産体制をとって進めています。原材料高騰で今春トイレトーパーが値上げし、今後の売り上げ額が心配されます。



分解作業に取り組みリサイクル班

農耕園芸班は、大型ハウスでの花苗育成2年目で、春の出荷に向け準備真最中です。6月には花市ウィークを行う予定もあり、新年度順調にスタートしました。

このように作業各班の就労支援活動は、おかれている状況はそれぞれ異なりますが、景気に左右されるところが大きく、今後の地域経済の動向を注視しながら利用者さんへの就労支援をしてまいります。皆様のご理解・ご支援よろしくお願い致します。



タオルたたみと刺し子をする手工芸班



箱作りをする段ボール班



ポットをきれいにする農耕園芸班

**編集後記** / ▼さて、新年度がスタートして1か月が経過、新緑がまぶしい好季節になりました。すがすがしい気候の中、各作業班の利用者さんは、新しいユニフォームを着て頑張っています。温かく見守りください。保護者会の皆さんありがとうございました  
▼今年のゴールデンウィークは、コロナ感染症の第5類格下げ対応により普通に戻り、全国各地の行楽地には多くの観光客が訪れているものと思われます。しかし、ここで油断すると感染の危険が心配されますので、気をつけてお過ごしください。連休明け2週間経過した時点の感染者数がどうなるかが注目され、今後の施設行事实施の指針にもなると思います。少ないままであることを祈るばかりです (M)